

Recovery Monitor

稟議・導入検討資料

決済エラー後の未回収取引を整理し、対応すべき取引を提示。

MRR・LTV・CACに直結する推奨アクションをルールベースで生成します。

30日間 無料トライアル

カード登録のみ
30日後から課金

Starter ¥19,800/月

月間決済
1,500～10,000件

読み取り専用 設計

PAN/CVC不受領
AES-256-GCM保管

目次 CONTENTS

- サービス概要・解決する課題
- Recovery Monitor の機能
- 導入効果 ROI 試算
- 料金プラン
- セキュリティ・データ取り扱い
- 導入フロー（30日間無料トライアルまで）
- よくある質問（稟議担当者向け）
- お問い合わせ・会社概要

1. サービス概要・解決する課題

サブスクリプション・EC定期通販・会員制ビジネスでは、月次の決済エラーが積み上がります。標準リトライが完了した後も回収できない取引が残り、対応せずに放置すると解約につながります。

Recovery Monitor は、「リトライ後の未回収」を5つの対応カテゴリに分類し、優先度付きの対応リストと推奨アクションを提示します。

課題：なぜ今、決済エラー後の運用が重要か

課題 ①

未回収の取引が見えない

決済代行会社の管理画面は「エラーかどうか」を示すが、「いつ誰が何回エラーになり、今どの状態か」を一覧できる画面がない。CSVを手作業で突き合わせる工数が発生している。

課題 ②

対応すべき取引と放置してよい取引が混在

エラー後に自然回収されるケース、カード更新で解決するケース、解約確認が必要なケースが混在しており、すべてに同じ対応をかけると対応コストが膨らむ。

課題 ③

毎月の取りこぼしが MRR・LTV を静かに下押しする

参考値として、全解約の20～53%が決済エラー起因とされる（※参考値）。意図しない解約をそのまま放置すると、LTVと収益予測に歪みが生じる。

課題 ④

CSV エクスポートと手作業管理の限界

月次で CSV をダウンロードして Excel で管理する運用は、件数増加・担当者交代・複数決済代行会社の並走時に破綻しやすい。属人化しているため、優先度判断も一貫しない。

ポジショニング

RECOVERY MONITOR の立ち位置

決済代行会社（PSP）が提供する標準リトライ・通知の「後段」に位置する運用レイヤーです。Stripe / PAY.JP / Komoju などのリトライ完了後に残る未回収取引を対象とします。決済処理・再請求・顧客への自動メール送信は一切行いません。担当者が対応判断を下すための情報整理ツールです。

2. Recovery Monitor の機能

5分類ダッシュボード

リトライ完了後の未回収取引を以下5カテゴリに自動分類し、対応優先度を提示します。

カテゴリ	意味・対象	推奨アクション
リトライ候補	時間差で復旧する一時的エラー。次サイクルで自然回収される可能性が高い取引。	次回サイクル確認
カード更新候補	期限切れ・無効カードが原因の取引。カード更新で回収できる可能性が高い。	カード更新案内を検討
顧客対応候補	残高不足が継続している取引。個別の連絡・対応が必要。	個別連絡を優先検討
要確認	本人認証・加盟店設定など、担当者が個別に確認すべき取引。	設定・認証状況を確認
リスク回避	不正・盗難などが疑われ、追わない判断が適切な取引。	追跡せず除外

主要機能

データ取込	CSV (Stripe / PAY.JP / Komoju / GMO-PG 等) + 決済代行会社 API 自動連携
対応決済代行会社	Stripe / PAY.JP / Komoju / Checkout.com / GMO-PG (API連携)、その他主要決済代行会社 (CSV対応)
自動ポーリング	6時間周期で決済代行会社 API からエラーになったチャージを取得・更新 (near-realtime はwebhook)
推奨アクションガイド	ルールベースで各取引の次アクションを整理して提示 (AI判断支援。自動実行なし)
月次レポート	月次の回収状況・カテゴリ推移・KPI変化をサマリーとして出力
月次推移ビュー	MRR影響・カテゴリ別件数の時系列変化を可視化
CSV エクスポート	対応リスト・分析結果をCSV形式でダウンロード可能
サンプルレポート	導入前に匿名化サンプルデータで画面・出力を確認可能

読み取り専用設計の原則

Recovery Monitor は決済処理・自動再請求・顧客への自動メール送信を一切行いません。決済代行会社との API 連携はデータ取得のみ (read-only) です。「何をすべきか」の情報整理と推奨アクション提示を担い、実行は担当者の判断に委ねます。

3. 導入効果 ROI 試算

以下は業種別の試算シナリオです。実際の回収率はビジネスモデル・エラー要因・対応速度によって異なります。30日間無料トライアルで実数値をご確認ください。

業種別 試算シナリオ

業種	月間 決済件数	月額 単価	エラー率	月次 回収見込み	Starter ROI	12ヶ月 累計インパクト
SaaS（中規模）	800件	¥12,000	4%	約¥226,000	×11.4	約¥8.7M
EC / D2C	1,500件	¥5,500	5%	約¥227,000	×11.5	約¥8.7M
会員制ビジネス	1,200件	¥3,980	4%	約¥130,300	×6.6	約¥5.0M
SaaS（小規模）	300件	¥9,800	4%	約¥87,100	×4.4	約¥3.4M

ROI の読み方

月次回収見込みの算出	月間決済件数 × 月額単価 × エラー率 × 回収率（参考値：30～45%）
Starter ROI	月次回収見込み ÷ Starter 月額（¥19,800）で算出
12ヶ月累計インパクト	月次回収見込み × 12ヶ月（平均的な回収継続を仮定）
ご注意	上記は参考値です。実際の回収金額を保証するものではありません

30日間無料トライアルで実数値を確認

試算はあくまで参考値です。30日間の無料トライアルで実際のデータを取り込み、御社のエラー率・回収見込み額を実数で確認いただけます。カード登録のみで開始でき、30日間は一切費用が発生しません。

※ 上記はすべて参考値です。回収率は業種・エラー要因・対応速度によって大きく異なります。実際の成果を保証するものではありません。決済エラー起因の解約割合「20～53%」は公開された海外データを参考に引用しています。

4. 料金プラン

全プランで30日間の無料トライアルが付属します。カード登録のみで開始でき、30日後から自動課金となります。

おすすめ

Starter

¥19,800/月

月間決済 1,500~10,000件

- ✓ 5分類ダッシュボード
- ✓ CSV 取込（主要決済代行会社のエクスポートに対応）
- ✓ 停止中サブスクの復活キュー（CSVでも利用可）
- ✓ 推奨アクションガイド
- ✓ 月次レポート出力
- ✓ CSVエクスポート
- ✓ 30日間無料トライアル

Standard

¥49,800/月

月間決済 5,000~50,000件

- ✓ Starter の全機能
- ✓ API 自動同期（Stripe / PAY.JP / Komoju / GMO-PG）
- ✓ 複数決済代行会社の並走管理
- ✓ 月次推移ビュー（詳細）
- ✓ Excel / PPT 出力
- ✓ 優先サポート対応
- ✓ 30日間無料トライアル

Pro

¥98,000~/月

月間決済 30,000件超

- ✓ Standard の全機能
- ✓ カスタム分類ルール設定
- ✓ 専任サポート担当
- ✓ API アクセス（読み取り）
- ✓ SLA 対応（応相談）
- ✓ ホワイトラベル対応可
- ✓ オンボーディング支援
- ✓ 30日間無料トライアル

全プラン共通

- ・ 30日間の無料トライアル付き（カード登録のみ・30日後から課金）
- ・ API 自動同期は Standard 以上。Starter は CSV 取込（停止中サブスクの復活キューは CSV でも利用可）
- ・ 月額料金は税抜表示。消費税は別途申し受けます

Enterprise — 個別見積

月間決済件数・連携決済代行会社数・セキュリティ要件・SLA・ホワイトラベル等、個別要件のある場合はお問い合わせください。

お問い合わせ: support@ai-orchestra.work

30日間無料トライアルの流れ

ai-orchestra.work/signup?plan=starter → クレジットカード登録 → 即日利用開始

30日間は料金が発生しません。30日後に Starter（¥19,800/月）の自動課金が開始します。

トライアル中でもすべての機能をご利用いただけます。

5. セキュリティ・データ取り扱い

Recovery Monitor は顧客の決済情報を扱うため、以下のセキュリティ原則に基づいて設計・運用しています。

PAN / CVC 不受領

カード番号 (PAN)・セキュリティコード (CVC) は一切受け取りません。CSV インポート・API 連携ともに、これらの情報は取り込み対象外です。カード番号を含む CSV をアップロードしないよう、インターフェース上でも案内しています。

API キーの暗号化保管

決済代行会社の API キーは AES-256-GCM で暗号化したうえで保管します。暗号化キーと API キー本体は分離管理しており、データベースへの不正アクセスのみでは復号できない構成です。

API キーの再表示不可

登録後の API キーは管理画面上で再表示されません。マスク表示のみ。再設定が必要な場合は上書き登録により更新します。過去の API キーは参照できない設計です。

通信の暗号化

すべての通信は HTTPS (TLS) で暗号化されます。決済代行会社との API 通信も同様に暗号化経路を使用します。平文での API キー送受信は行いません。

読み取り専用 API 連携

決済代行会社との API 連携は読み取り専用 (GET 系のみ) です。再請求・サブスクリプション変更・顧客情報変更などの書き込み操作は、サービスレイヤーに実装されていません。

顧客への自動メール送信なし

Recovery Monitor が顧客へ自動でメールを送信することはありません。メール文面のドラフト生成機能はありますが、送信は必ず担当者の判断・操作が必要です。自動送信 API は提供していません。

マスクまたはハッシュ化の推奨

CSV インポート時に顧客識別子をそのまま取り込む代わりに、マスク ID またはハッシュ化した識別子の使用を推奨しています。個人情報の最小化を促す設計です。

アクセス制御

ダッシュボードへのアクセスはアカウント認証で管理されます。操作ログを記録し、不審なアクセスを検知できる設計です。管理者権限と一般ユーザー権限を分離しています。

※ セキュリティポリシーの詳細は ai-orchestra.work/security をご参照ください。追加のセキュリティ要件 (IP制限・SSO・監査ログ出力等) については Enterprise プランにて対応可能です。お問い合わせは support@ai-orchestra.work まで。

6. 導入フロー（30日間無料トライアルまで）

最短当日中に Recovery Monitor の利用を開始できます。決済代行会社の API キーまたは CSV さえあれば、すぐにデータ取り込みと分析が可能です。

1 サインアップ（無料トライアル開始）

ai-orchestra.work/signup?plan=starter にアクセスし、メールアドレス・クレジットカード情報を登録します。30日間は料金が発生しません。登録完了後、すぐにダッシュボードを利用できます。

2 決済代行会社の連携 または CSV アップロード

設定画面から利用中の決済代行会社（PSP）の API キーを登録（推奨）するか、CSV をアップロードします。API 連携の場合、6時間周期で自動的にデータが同期されます。

3 データ取り込みと分類の確認

取り込んだデータが5つのカテゴリに分類されます。対応件数・未回収金額・エラー率がダッシュボードに表示されます。サンプルレポートで出カイメージを事前確認することも可能です。

4 推奨アクションの確認・対応開始

各取引に対してルールベースの推奨アクションが表示されます。「カード更新候補」には担当者がカード更新案内を検討し、「顧客対応候補」には個別連絡を優先するなど、優先度に沿って対応を進めます。

5 30日後：Starter プランへ移行（自動）

トライアル開始から30日後に Starter（¥19,800/月）の課金が自動的に開始します。継続しない場合は30日以内にダッシュボードからキャンセルしてください。

対応決済代行会社（PSP）

決済代行会社	API 連携	CSV 対応	Webhook	ステータス
Stripe	✓	✓	✓	本番稼働
PAY.JP	✓	✓	✓	本番稼働
Komoju	✓	✓	✓	本番稼働
GMO-PG	Webhook のみ	✓	✓	本番稼働
その他の決済代行会社	—	✓	—	CSV 対応（列マッピングで取込可）

7. よくある質問（稟議担当者向け）

Q1 Recovery Monitor を導入すると、自動でリトライや再請求が行われますか？

いいえ。Recovery Monitor は一切の決済処理・再請求・自動リトライを行いません。データの読み取りと分析、推奨アクションの提示のみを行います。実際のアクション（カード更新案内の送付、解約処理など）は担当者が判断・実行します。

Q2 顧客へ自動でメールが送信されることはありますか？

ありません。Recovery Monitor が顧客へ自動でメールを送信することはありません。メール文面のドラフト生成機能はありますが、実際の送信は担当者の操作が必要です。

Q3 カード番号（PAN）や CVCを渡す必要がありますか？

不要です。Recovery Monitor はカード番号・CVC・セキュリティコードを一切受け取りません。CSV アップロード時にもこれらの情報は含めないよう設計・案内しています。

Q4 既存の決済フロー・決済代行会社の契約に影響しますか？

影響しません。Recovery Monitor は決済代行会社の「後段」に位置する運用ツールです。既存の決済フロー・決済代行会社の契約・Stripe 等の設定を変更する必要はありません。read-only の API キーのみ登録します。

Q5 決済代行会社の API キーを渡すことへのセキュリティ懸念があります

API キーは AES-256-GCM で暗号化して保管します。保管後は管理画面からも再表示されません。read-only の制限付き API キー（Stripe の Restricted Key 等）のみ登録することを推奨しています。決済代行会社ごとの最小権限キー発行手順はドキュメントに記載しています。

Q6 30日間のトライアルで何ができますか？制限はありますか？

トライアル中は Starter プランの全機能を制限なく利用できます。CSV インポート・5分類ダッシュボード・推奨アクション確認・月次レポート出力・CSV エクスポートなど、すべてご利用いただけます。

Q7 導入の決裁に必要な資料（セキュリティ要件票・契約書類等）はありますか？

セキュリティ要件票・利用規約・プライバシーポリシー・特定商取引法に基づく表記を ai-orchestra.work にて公開しています。追加の資料が必要な場合は support@ai-orchestra.work までご相談ください。

Q8 推奨アクションはどのような基準で生成されますか？

エラーコード・エラー継続日数・過去の決済履歴・カード種別などをもとにルールベースで分類・推奨アクションを生成します。AI による自動判断支援も組み合わせていますが、最終的な対応判断は担当者が行います。AI 生成内容には「参考値」として明示します。

8. お問い合わせ・会社概要

30日間無料トライアルを開始する

ai-orchestra.work/signup?plan=starter

カード登録のみ・30日間は料金が発生しません

会社概要

サービス名	Recovery Monitor (Payment Intelligence)
運営	AI Orchestra
サービスサイト	ai-orchestra.work
お問い合わせ	support@ai-orchestra.work
稟議・導入相談	support@ai-orchestra.work （件名：稟議資料依頼）
セキュリティ資料	ai-orchestra.work/security
利用規約・PP	ai-orchestra.work/terms / ai-orchestra.work/privacy
特定商取引法	ai-orchestra.work/tokushoho

今月から、決済エラー後の解約を新しい KPI に。

【免責事項】本資料に記載されたROI試算・回収率・解約割合等はすべて参考値であり、実際の成果を保証するものではありません。掲載された数値は公開情報をもとにした試算であり、業種・エラー要因・運用体制によって大きく異なる場合があります。Recovery Monitor は決済処理・再請求・顧客への自動メール送信を行いません。本資料に記載された情報は2026年6月時点のものです。仕様・料金は予告なく変更となる場合があります。本資料は社外秘として扱ってください。無断転載・複製を禁じます。